

特集

経験の言語化の可能性
現象学的質的研究のインタビューを中心に

現象学的な研究における経験の言語化について 家高洋
「秩序」として言語化された事柄の(ある程度の)分類とその可能性
家高洋

『医療とケアの現象学』に通底する現象学的アプローチの
意義と課題 榊原哲也

経験を明らかにすることの可能性と難しさ 西村ユミ

現象学的研究におけるインタビュー 村上靖彦

特別記事

兵庫県立大学先端医療工学研究所の取り組み
——病院診療×医療工学×看護学 本田順子, 築田誠, 坂下玲子

連載

看護実践モデルの構築・評価・デザイン——その方法とプロセス・9
西上あゆみ

若手研究者による若手研究者のための
集まる つながる 広がる 若手研究者のバトン・38 井上真帆

編集協力者(五十音順)

阿曾洋子／井上智子／井部俊子／太田喜久子／岡谷恵子／片田範子／金井Pak雅子／
上泉和子／萱間真美／川口孝泰／河口てる子／グレッグ美鈴／黒田裕子／小松浩子／
坂下玲子／真田弘美／筒井真優美／水流聡子／西村ユミ／野嶋佐由美／早川和生／
舟島なをみ／正木治恵／村嶋幸代／森恵美／安酸史子／山田雅子／山本則子

●編集後記●

本特集を企画いただいた坂井志織先生は、研究倫理に関するわが国の議論の歩みを概観した上で、研究倫理は「古くて新しい」課題であり、質的研究の特徴から絶対的な正解があるのではなく、常に考え続けることが求められると述べています。研究倫理という大海の前に、本特集はまさにどの原稿にも、読み手をとらえ、思考を促すような問題提起や展望が示され、時折行間から声が聞こえてくるようなリアリティがあります。そして、研究倫理というテーマの先に、質的研究の醍醐味とともに、とりもなおさず質的研究とは何かという、根源的な問いが浮かんでくるように感じました。転ばぬ先の杖は大切ですが、もし四方を杖に囲まれたら歩くことがままなりません。質的研究の多様な可能性をひらくためにも、杖と一緒に、進む道を示す灯台や羅針盤のように研究倫理が構築されていくことを願っています。(小長谷)

看護研究 第57巻 第5号(通巻321号)
2024年10月15日発行
(年6回発行)

発行：株式会社医学書院
代表者：金原 俊
〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

販売・PR部：電話(03)3817-5650

社内案内：電話(03)3817-5600

医学書院ホームページ：
<https://www.igaku-shoin.co.jp>

『看護研究』編集室：
電話(03)3817-5775

e-mail kanken@igaku-shoin.co.jp

担当：小長谷・番匠

Published by IGAKU-SHOIN Ltd.
1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo
©2024, Printed in Japan
印刷：株式会社双文社印刷
広告：日本医学広告社：
電話(03)5226-2791
別刷：医学書院 販売・PR部：
電話(03)3817-5696

1部定価2,200円(本体2,000円+税10%)

2024年年間購読料
(送料弊社負担,年6冊)
冊子版：11,880円(本体10,800円+税10%)
冊子+電子版/個人：15,180円
(本体13,800円+税10%)
電子版/個人：11,880円
(本体10,800円+税10%)

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・
上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信
可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有
します。

本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン,
デジタルデータ化など)は、「私的使用のための
複製」など著作権法上の限られた例外を除き
禁じられています。

大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて,
業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)
で上記の行為を行うことは, その使用範囲が
内部的であっても, 私的使用には該当せず,
違法です。また私的使用に該当する場合
であっても, 代行業者等の第三者に依頼して
上記の行為を行うことは違法となります。

ICOPY 出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き
禁じられています。複製される場合は,
そのつど事前に出版者著作権管理機構
(電話03-5244-5088, FAX 03-5244-5089,
e-mail info@jcopy.or.jp)の許諾を
得てください。